

資料 4

「保健事業の一層の推進」 への取り組みについて



令和 8 年 9 月 1 7 日
全国健康保険協会静岡支部
企画総務部保健グループ

主な保健事業について

健診

35歳以上の被保険者向けに、がん検診も含めた「生活習慣病予防健診」を実施。また、40歳以上の被扶養者向けに、「特定健診」を実施。自己負担額の軽減、健診内容の拡充等を行い、加入者が健診を利用しやすい環境や制度の整備を実施。

特定保健指導

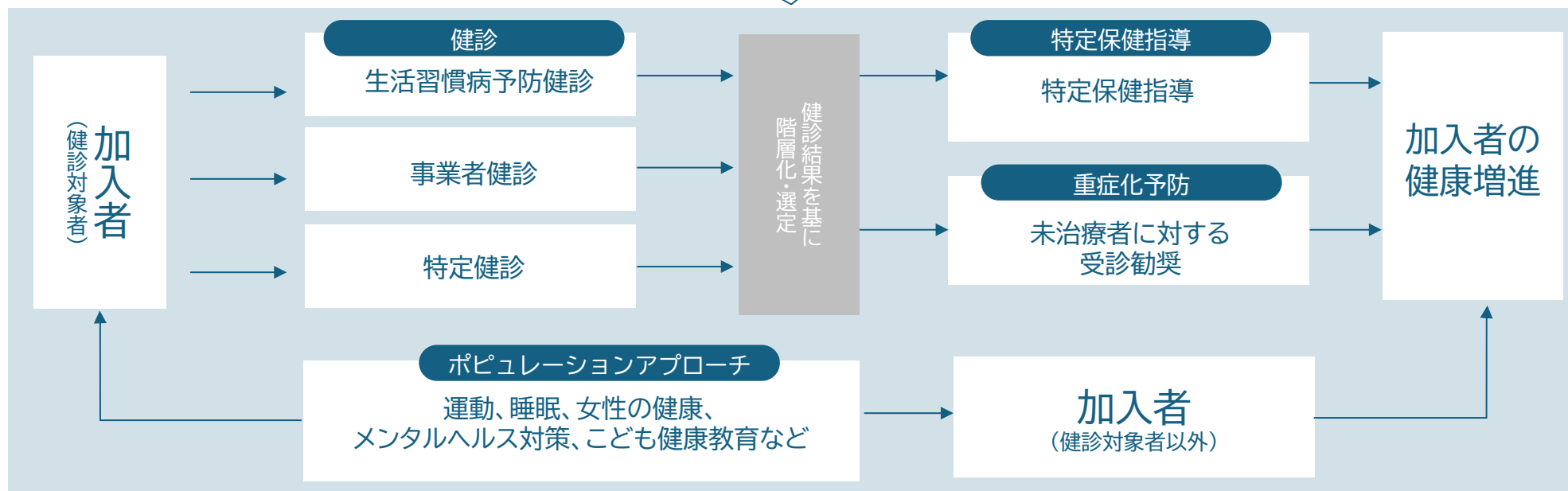
健診の結果、メタボリックシンドロームのリスクのある方を対象に、保健師や管理栄養士等が面談し、生活習慣の改善を図る「特定保健指導」を実施。

重症化予防

健診結果（血圧値・空腹時血糖値（またはHbA1c）・LDL（悪玉）コレステロール値もしくは胸部エックス線検査）が要精密検査・要治療と判定され、医療機関への受診が必要と判定された方で受診が確認できない方に対して受診勧奨を実施。

ポピュレーションアプローチ

若年期から高齢期までの生涯を通じた加入者の健康増進を見据え、40歳未満も含めたデータ分析に基づく地域や業態、年代別などの健康課題（喫煙、運動、睡眠や女性の健康など）に着目した健康情報等を発信。また、メンタルヘルス対策に関するセミナー・出前講座等の取組や、SDGsの視点を踏まえた小学生等への健康教育を実施。



主な保健事業の拡充について（令和8年度）

令和4年度	◆重症化予防対策の充実	未治療者に対する受診勧奨の対象にLDLコレステロールを追加
令和5年度	◆生活習慣病予防健診（一般健診）の自己負担の軽減 ◆付加健診※の自己負担の軽減 ※一般健診に加えてさらに検査項目を増やしたもの。	- 自己負担額を7,169円から5,282円に軽減。 - 自己負担額を4,802円から2,689円に軽減。
令和6年度	◆付加健診の対象年齢拡大 ◆被扶養者の集団健診時におけるオプション健診の拡充 ◆重症化予防対策の充実 ◆支部における地域・職域の特性を踏まえた保健事業の実施	「40歳・50歳」から、「40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳」に拡大。 「骨粗鬆症検診」「歯科検診」「眼底検査」を地域の実情に応じて追加可能とした。 - 受診勧奨対象者を被扶養者および協会が事業者健診結果データを取得した者に拡大。 - 医療費・健診データの分析に基づく地域や業態・年齢別などの健康課題に着目した実効性のあるポピュレーションアプローチ等の実施。
令和7年度	◆重症化予防対策の充実 ◆事業所における健康づくりの支援	「胸部エックス線検査」において要精密検査・要治療と判定されながら、医療機関への受診が確認できない者に対して受診勧奨を実施。 - メンタルヘルス対策に関するセミナーおよび出前講座の実施に係る体制を整備。
令和8年度	◆人間ドック健診に対する補助の実施 ◆若年者を対象とした健診の実施 ◆生活習慣病予防健診の項目等の見直し	35歳以上の被保険者を対象に、一定の項目を網羅した人間ドック健診に対する補助を実施。 - 生活習慣病予防健診に、新たに20歳・25歳・30歳の被保険者を対象として追加。 40歳以上の偶数年齢の女性を対象に骨粗鬆症検診を実施。
令和9年度	◆被扶養者に対する健診の拡充 ◆重症化予防対策の充実	- 被扶養者に対する健診について、被保険者に対する見直し後の人間ドック健診や生活習慣病予防健診と同等の内容に拡充する。 - 未治療者に対する受診勧奨の対象に、胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がんを追加予定。

人間ドック健診の実施等について

- 協会けんぽが実施する健診の選択肢の拡大、一層の健康意識の醸成及び健診実施率の向上を図ること等を目的に、令和8年度から、35歳以上の被保険者の皆様を対象に協会けんぽ版人間ドック健診を実施^(※1)し、受診する被保険者の皆様に対しては最大25,000円の補助を行う^(※2)。
(※1) 令和8年3月現在、1,167の健診機関と契約締結予定。
(※2) 令和8年度からは、人間ドック健診に加えて、若年者(20歳、25歳、30歳)を対象とした生活習慣病予防健診及び、生活習慣病予防健診の項目の見直し(40歳以上の偶数年齢の女性を対象に骨粗鬆症検診を実施)の実施も予定している。
- 対象の皆様へのご案内は、令和8年3月中旬から全国の事業所に順次配布するリーフレットにより、生活習慣病予防健診のご案内とあわせて行う。
- また、協会けんぽにおいては、新聞広告のほか、リーフレットやポスター及び協会けんぽHP等により人間ドック健診等の広報活動を強化しており、新たな仕組みに変わった健診の周知に努めている。

○ 人間ドック健診等に関する広報活動の強化について

広報媒体	広報時期
ランディングページ公開(ホームページ)	1月21日～
Web広告	1月29日～
新聞広告(読売新聞朝刊)	2月4日
車両サイネージ (東京メトロ(全線)・JR西日本(関西圏)・JR九州(JR筑肥線、福岡市営地下鉄空港線))	2月2日～2月8日
医療機関サイネージ(全国約1,500施設)	2月1日～2月28日
けんぽ便り(納入告知書同封リーフレット)	1月号・3月号・5月号
けんぽLINK	3月号
社会保険しずおか	2月号

令和8年度の実施状況

◆人間ドック健診に対する補助の実施

生活習慣病予防健診実施機関93機関中、38機関で実施。併せて特定保健指導の対象者に対し、特定保健指導の当日実施を行う。

※特定保健指導実施機関54機関

生活習慣病予防健診				人間ドック健診				合計			
受診者数	特定保健指導			受診者数	特定保健指導			受診者数	特定保健指導		
	対象者数	実施 予定数	実施率 (予定)		対象者数	実施 予定数	実施率 (予定)		対象者数	実施 予定数	実施率 (予定)
33,825人	5,145人	991人	19.3%	5,128人	856人	411人	48.0%	38,953人	6,001人	1,402人	23.4%

※令和8年8月17日処理時点

◆若年者を対象とした健診の実施

年齢	対象者数	受診者数	受診率
20歳（平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれ）	2,635人	169人	6.4%
25歳（平成13年4月2日～平成14年4月1日生まれ）	9,222人	567人	6.1%
30歳（平成8年4月2日～平成9年4月1日生まれ）	9,908人	558人	5.6%

※令和8年8月17日処理時点

◆生活習慣病予防健診の項目等の見直し

40歳以上の偶数年齢の女性を対象に骨粗鬆症検診を実施。2,946人が受診。※令和8年8月17日処理時点

主な保健事業の拡充について（令和9年度）

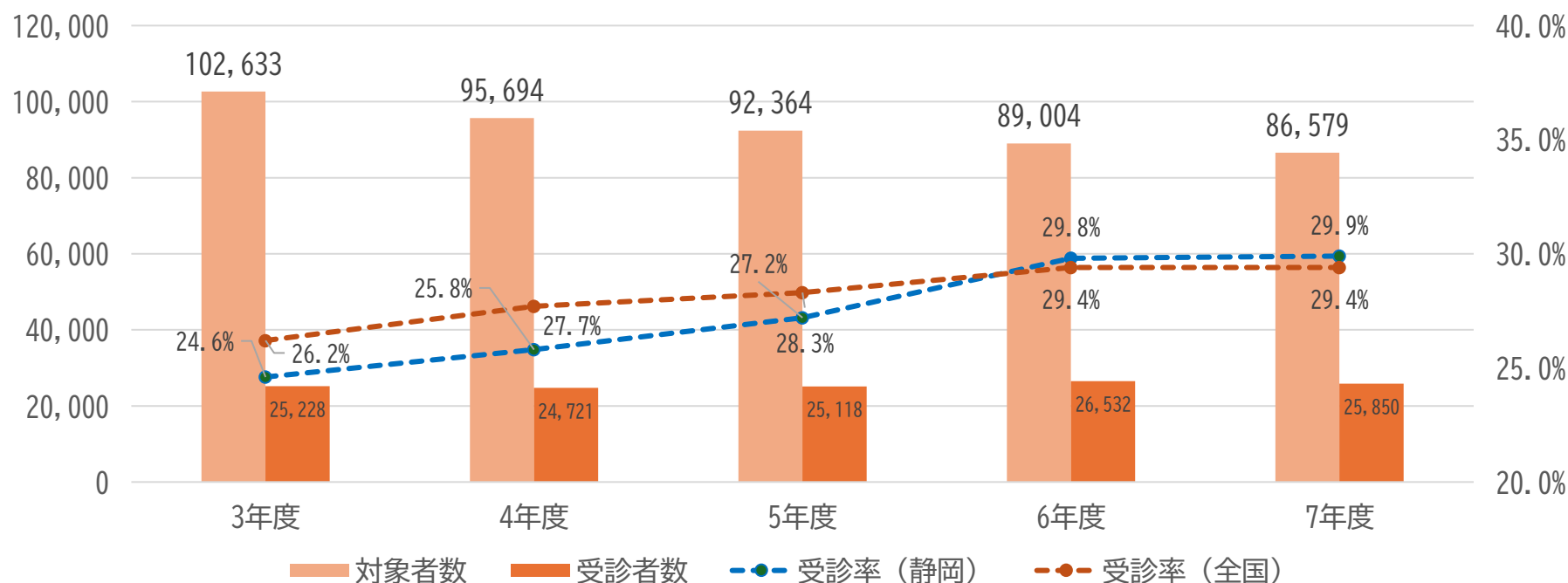
令和4年度	◆ 重症化予防対策の充実	未治療者に対する受診勧奨の対象にLDLコレステロールを追加
令和5年度	◆ 生活習慣病予防健診（一般健診）の自己負担の軽減 ◆ 付加健診※の自己負担の軽減 ※一般健診に加えてさらに検査項目を増やしたもの。	- 自己負担額を7,169円から5,282円に軽減。 - 自己負担額を4,802円から2,689円に軽減。
令和6年度	◆ 付加健診の対象年齢拡大 ◆ 被扶養者の集団健診時におけるオプション健診の拡充 ◆ 重症化予防対策の充実 ◆ 支部における地域・職域の特性を踏まえた保健事業の実施	「40歳・50歳」から、「40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳」に拡大。 「骨粗鬆症検診」「歯科検診」「眼底検査」を地域の実情に応じて追加可能とした。 - 受診勧奨対象者を被扶養者および協会が事業者健診結果データを取得した者に拡大。 - 医療費・健診データの分析に基づく地域や業態・年齢別などの健康課題に着目した実効性のあるポピュレーションアプローチ等の実施。
令和7年度	◆ 重症化予防対策の充実 ◆ 事業所における健康づくりの支援	「胸部エックス線検査」において要精密検査・要治療と判定されながら、医療機関への受診が確認できない者に対して受診勧奨を実施。 - メンタルヘルス対策に関するセミナーおよび出前講座の実施に係る体制を整備。
令和8年度	◆ 人間ドック健診に対する補助の実施 ◆ 若年者を対象とした健診の実施 ◆ 生活習慣病予防健診の項目等の見直し	35歳以上の被保険者を対象に、一定の項目を網羅した人間ドック健診に対する補助を実施。 - 生活習慣病予防健診に、新たに20歳・25歳・30歳の被保険者を対象として追加。 40歳以上の偶数年齢の女性を対象に骨粗鬆症検診を実施。
令和9年度	◆ 被扶養者に対する健診の拡充 ◆ 重症化予防対策の充実	- 被扶養者に対する健診について、被保険者に対する見直し後の人間ドック健診や生活習慣病予防健診と同等の内容に拡充する。 - 未治療者に対する受診勧奨の対象に、胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がんを追加予定。

被扶養者に対する健診の拡充について

被扶養者の特定健診については、対象者の受診機会の拡大を目的とした無料の集団健診の実施や市町のがん検診との同時実施等をすすめ、これまで受診率は年々伸びてきているが、未だ約7割の方が未受診となっている。

今後、受診率を更に向上させるために、これまでの集団健診やがん検診との同時実施に加え、令和9年度の被扶養者に対する健診の拡充を契機とした事業を実施したい。

特定健診（被扶養者）受診状況



被扶養者の健診受診率向上に向けた主な取り組み（令和7年度）

	取り組み内容	対象等	結果
①がん検診と特定健診の同時実施の集団健診	市町と連携して、自治体が実施するがん検診と同時に特定健診が受診できる集団健診を開催。（静岡県から各市町長あてに協力依頼を発出してもらえよう働きかけた。）	23市町と連携	会場数 のべ306会場 受診者数 2,637名
②女性限定ホテル健診の実施	被扶養者の95%を占める女性をターゲットに、ホテルを会場とし、女性の受診動機づけとなるオプション検査等を付加。協会けんぽ補助による骨粗しょう症検診、眼底検査を実施。また、実施時期を受診券到着直後の6月に設定し、早期受診を促した。西部を2日に増やし、東部でも新たに1日実施。	未受診者 西部 26,017名 東部 21,428名 に勧奨	西部 952名、東部 313名 受診
③協会主催の集団健診の実施	オプション測定器（肌年齢測定器、野菜摂取度測定器、体脂肪測定器）や市町のがん検診、健診機関独自の検査などを組み合わせた集団健診の実施。一部会場で協会けんぽ補助による骨粗しょう症検診実施。 開催時期：8月下旬～2月 会場数：のべ 91会場 ※「市町別受診率」を参考に、特に年々受診率が下がっているような地域も考慮し会場選定している。 ・過去の受診履歴によって3パターンに分けて受診勧奨を実施。	78,421名	3,225名 (前年比－195名)
④掛川市における集団健診の実施	協会主催の集団健診開催実績がなく、無料で受診できる健診機関もない掛川市において受診機会確保のため12月～1月に3日間実施。協会けんぽ補助による骨粗しょう症検診実施。被保険者の生活習慣病予防健診についても同時実施。	被扶養者 7,957名	3日実施 被扶養者受診者数 104名
⑤LINEによる情報提供	広報物にLINEの二次元コードを掲載し、お友達登録についてPRを実施。 登録者に対して健康情報とともに健診の日程を発信。	協会けんぽ加入者	毎月2回配信 登録者数 6,812名 (令和7年3月末現在)
⑥年度末集団健診の実施	年度最後の追い込みとして3月に東部9会場、中部8会場、西部3会場で集団健診を実施。会場、無料オプション測定、有料オプション検査等の受診率向上策について健診機関から企画を募集。 なお、企画競争にあたり、当日に特定保健指導が実施できることを要件とした。 ※ 東部地区・中部地区は被保険者の生活習慣病予防健診についても同時実施	未受診者 東部 19,911人 中部 23,749人 西部 21,445人 に勧奨	東部 454人 中部 508人 西部 513人

事業所規模別にみた被扶養者の健診の傾向

被扶養者に対する健診受診の傾向を、被保険者が勤務する事業所の規模別に分析すると、事業所の規模が小さくなるほど被保険者と同日に受診する傾向である。

これは、事業所規模が大きい事業所は、事業所が検診車を使ってまとめて健診をするケースが多く、被扶養者はそれぞれ受診するのに対し、小規模の事業所は自由に健診機関を選択していることが要因としてあげられる。

■ 令和7年度の被保険者と被扶養者の受診状況 ※事業所規模0人事業所は令和8年度全喪事業所

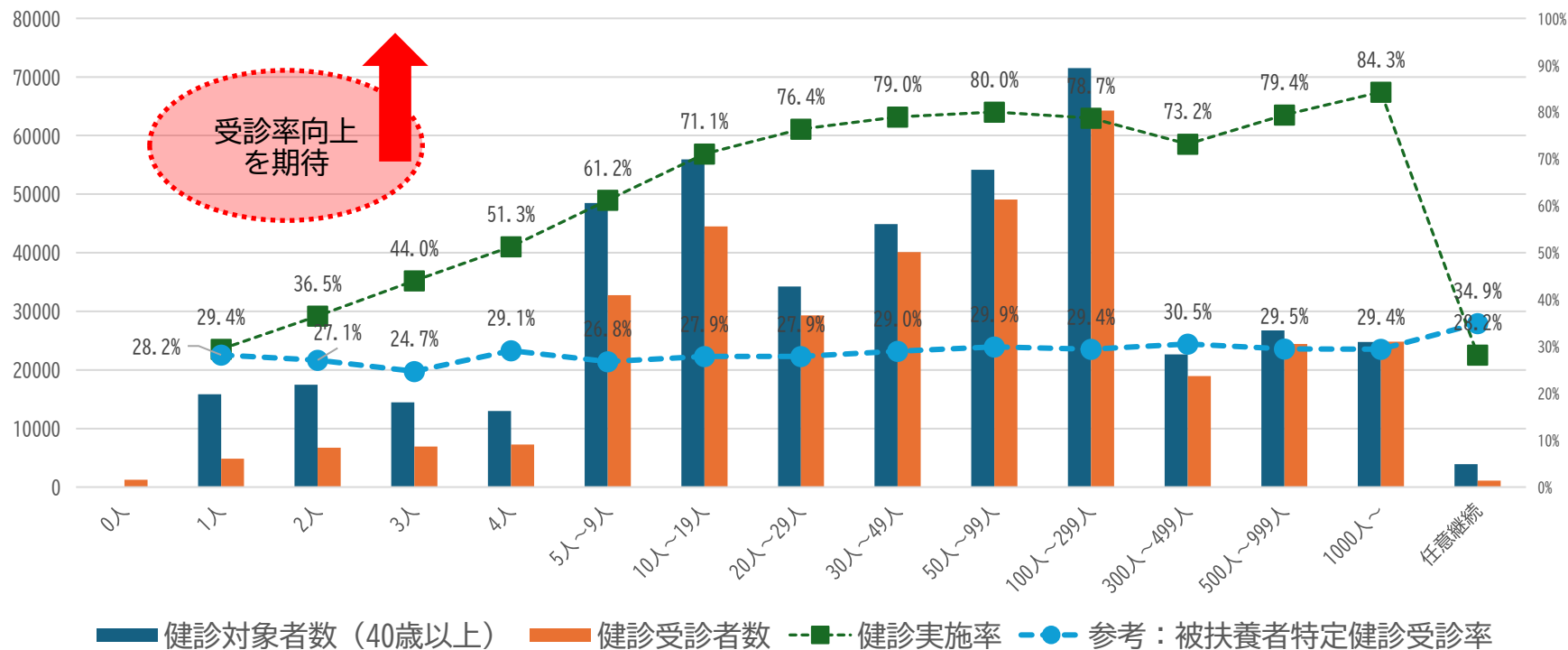
事業所規模	健診対象者数 (被扶養者：40～74歳)	受診者数 ①	被保険者の受診状況		被保険者と被扶養者共に受診					
			被保険者は未受診	被保険者も受診	被保険者と同日に受診した被扶養者		被保険者と同じ健診機関で受診した被扶養者		被保険者と同日に同じ健診機関で受診した被扶養者 (一緒に受診した被扶養者)	
					人数	受診者①に占める割合	人数	受診者①に占める割合	人数	受診者①に占める割合
0人		116人	64人	52人	6人	5.17%	18人	15.52%	6人	5.17%
1人	5,784人	1,632人	823人	809人	232人	14.22%	311人	19.06%	161人	9.87%
2人	3,439人	930人	428人	502人	72人	7.74%	177人	19.03%	55人	5.91%
3人	2,715人	679人	266人	413人	36人	5.30%	103人	15.17%	17人	2.50%
4人	2,410人	701人	260人	441人	33人	4.71%	99人	14.12%	21人	3.00%
5人～9人	9,058人	2,431人	773人	1,658人	86人	3.54%	283人	11.64%	58人	2.39%
10人～19人	10,871人	3,047人	887人	2,160人	85人	2.79%	332人	10.90%	55人	1.81%
20人～29人	6,681人	1,865人	442人	1,423人	22人	1.18%	141人	7.56%	14人	0.75%
30人～49人	8,649人	2,515人	563人	1,952人	33人	1.31%	224人	8.91%	21人	0.83%
50人～99人	10,348人	3,089人	651人	2,438人	66人	2.14%	289人	9.36%	41人	1.33%
100人～299人	12,039人	3,540人	713人	2,827人	93人	2.63%	288人	8.14%	55人	1.55%
300人～499人	3,730人	1,142人	305人	837人	26人	2.28%	119人	10.42%	14人	1.23%
500人～999人	4,108人	1,216人	248人	968人	26人	2.14%	114人	9.38%	19人	1.56%
1000人～	4,754人	1,399人	175人	1,224人	28人	2.00%	145人	10.36%	21人	1.50%
任意継続		658人	364人	294人	73人	11.09%	114人	17.33%	50人	7.60%
計	84,586人	24,960人	6,962人	17,998人	917人	3.67%	2757人	11.05%	608人	2.44%

事業所規模別にみた被保険者の健診の受診率

被保険者の健診受診率は、事業所規模が小さくなるほど下がる傾向にある。特に小規模の被保険者の健診受診率は低く、5人未満の事業所の健診受診率（令和7年度）は、44.5%と支部平均と比べて低い。健診受診率を更に向上させるためには、小規模事業所の受診者数を増加させることが不可欠である。

5人未満の小規模事業所は被保険者と被扶養者が同時に健診を受ける割合が高く、被扶養者の健診の拡充と関連付けて受診勧奨を行うことが有効と考える。

被保険者健診受診率（事業所規模別）



被扶養者に対する健診の拡充を契機とした健診受診率向上に向けた取組（案）

被扶養者に対する健診の拡充の目的は、被扶養者の健康増進が目的ではあるが、特定健診のこれまでの受診状況を分析すると、拡充を契機として、被保険者と被扶養者の同時受診を促し、支部の課題となっている小規模事業所の被保険者の受診率を上げる効果も期待できる。

そのために、被扶養者の特定健診については、これまでの集団健診を中心とした取り組みを継続しながら、被保険者の生活習慣病予防健診と被扶養者の特定健診が同時に受診できる事業を拡大と積極的な広報を展開していく。

これまでの取組

がん検診と特定健診の同時実施の集団健診

協会主催の集団健診
(オプション検査を付加)

年度末集団健診
(一部生活習慣病予防健診同時実施)

女性限定ホテル健診

地域限定集団健診
(一部生活習慣病予防健診同時実施)

令和9年度

同時実施できる機会の拡大
積極的な広報

なお、静岡支部では、独自に実施する集団健診として、令和8年度に託児付き生活習慣病予防健診集団健診の開催を予定している。受診状況を分析し、令和9年度事業の参考とする。

事業名	概要
託児施設付き集団健診	令和8年度から、若年層を対象とした生活習慣病予防健診が始まったことに伴い、若年層の加入者へ協会けんぽの健診制度を知ってもらうこと、若いうちから健康に関する関心をもってもらい、健康に対する意識づけを図ることを目的に、集団健診を実施する。 子育て世代が参加しやすいように託児施設を設け、同伴の子供や家族には、オプション測定器等を利用した健康チェックやイベントを行い、楽しみながら健康について考えてもらう。 あわせて、40～50歳の被扶養者に対する特定健診を行う。

被扶養者に対する健診の拡充を契機とした健診受診率向上に向けた取組（案）

● 同時実施できる機会の拡充

例年実施している、小規模事業所加入の被保険者を対象とした、土日開催の集団健診会場にて特定健診もあわせて実施できるような体制とし、開催案内のDMIは、同世帯の被保険者・被扶養者両方に同時に届くように作成・発送を行う。

協会主催の企画競争による被扶養者を対象とした集団健診でも、生活習慣予防健診も同日・同時に受診できるような体制とすることにより、受診の機会を増やす。

● 積極的な広報

被扶養者も人間ドックや生活習慣病予防健診を受診できるようになることを全面的に出し、パートナー同士、家族そろって健診を受診できることをアピールする広報を打ち出す。

評議員の皆様に
ぜひ次年度に向けて
のご意見をいただ
けると幸いです。



(参考) 各健診の検査項目の比較 (令和8年度)

検査項目		人間ドック 健診	生活習慣病予防健診 節目健診	生活習慣病予防健診 一般健診	定期健康診断 (事業者健診)	特定健診 (被扶養者)
診察等	問診	○	○	○	○	○
	業務歴				○	
	自覚症状	○	○	○	○	○
	他覚症状	○	○	○	○	○
	身体計測	身長	○	○	□	○
		体重	○	○	○	○
	BMI・標準体重	○	○	○	○	○
	肥満度	○				
	腹囲	○	○	○	■※	○
	血圧(収縮期/拡張期)	○	○	○	○	○
	心拍数	○				
	視力	○	○	○	○	○
	聴力	○	○	○	○	○
脂質	総コレステロール	○	○	○		
	空腹時中性脂肪	○	○	○	■	○
	随時中性脂肪		■※※	■※※	■※※	■※※
	HDL-コレステロール	○	○	○	■	○
	LDL-コレステロール	○	▲	▲	▲	▲
	non-HDL-コレステロール ※1	○	▲	▲	▲	▲
肝機能	AST (GOT)	○	○	○	■	○
	ALT (GPT)	○	○	○	■	○
	γ-GT (γ-GTP)	○	○	○	■	○
	ALP	○	○	○		
代謝系	空腹時血糖	○	▲	▲	▲	▲
	随時血糖 ※2		▲	▲	▲	▲
	HbA1c	○	▲	▲	▲	▲
	尿糖	○	○	○	○	○
	尿酸	○	○	○		
	総蛋白	○	○			
	アルブミン	○	○			
	総ビリルビン	○	○			
	アミラーゼ		○			
	LDH		○			
血液一般	ヘマトクリット値	○	○	○		□
	血色素量(ヘモグロビン値)	○	○	○	■	□
血液一般	赤血球数	○	○	○	■	□
	白血球数	○	○	○		
	血小板数	○	○			
	末梢血液像		○			
	MCV	○				
	MCH	○				
	MCHC	○				
	CRP	○				
	血液型 (ABO Rh)	◎				
	HBs抗原	○	◎	◎		
	尿蛋白	○	○	○	○	○
	潜血	○	○	○		
腎機能	尿沈渣顕微鏡検査	●	○			
	血清クレアチニン (eGFR)	○	○	○	□	□
心機能	心電図	○	○	○	■	□
肺	胸部エックス線検査	○	○	○	○	
	喀痰細胞診		◎	◎	□	
呼吸機能	努力肺活量	○	○			
	1秒量(対標準1秒量)	○	○			
	1秒率	○	○			
	%肺活量	○	○			
眼底		○	○	□		□
眼圧		○				
骨粗鬆症検査	骨密度		◎	◎		
胃	胃部エックス線検査 ※3	○	○	○※		
	腹部超音波検査	○	○			
大腸	便潜血	○	○	○※		
医師による結果説明		○				
保健指導		○				
オプション検査	上部消化管内視鏡	◎	◎	◎		
	乳房診察 + マンモグラフィ	◎	◎	◎		
	乳房診察 + 乳腺超音波検査	◎				
	婦人科診察 + 子宮頸部細胞診	◎	◎	◎		
	PSA	◎				
HCV抗体		◎	◎	◎		

○・・・必須項目

○※・・・20歳、25歳、30歳は検査項目に含まない

◎・・・オプション項目または本人の申出により省略可の項目

●・・・尿蛋白、潜血反応が陰性であれば省略可の項目

▲・・・いずれかの項目でも可

◎・・・50歳以上で喫煙指数が600以上であり、検査を希望する者に実施する項目

□・・・医師の判断に基づき実施する項目

■・・・35歳及び40歳以上の者については必須、それ以外の者については医師の判断に基づき選択的に実施する項目

■※・・・35歳及び40歳以上の者については必須、ただし妊娠中その他の者であって腹囲が内臓脂肪の蓄積を反映していないと判断された者、BMIが20未満の者及び自らが腹囲測定をし、その値を申告した者（BMIが22未満である者に限る）については医師の判断に基づき選択的に実施する項目

■※※・・・やむを得ず空腹時以外に採血を行った場合、随時中性脂肪により検査を行うことを可とする

※1・・・中性脂肪が400mg/dl以上や食後採血の場合、LDLコレステロールの代わりにnon-HDLコレステロールにより血中脂質検査を行うことを可とする

※2・・・食事開始後3.5時間以上経過していること

※3・・・本人の希望等により胃内視鏡検査に代えることができる